

1 2021年6月期までの歩み 事業の振り返り

2 HPCシステムの目指す姿 Beyond 2030

3 中期経営計画 Vision2024

スーパーコンピュータからエッジコンピュータまでのコンピュータサイエンスを駆使したソリューションを提供し、顧客の学術基礎研究から産業界の先端研究開発を加速支援する国内ニッチトップ企業としてポジションを確立

売上高100億円、営業利益12.8億円への挑戦



I.1

HPC事業戦略

HPC-AIソリューションの提供を通して
多角的にお客様の研究開発や解析業務を加速支援

HPC-AI
プラットフォーム

サイエンス
クラウド

基盤技術
コンピュータ
サイエンス

計算化学
MI

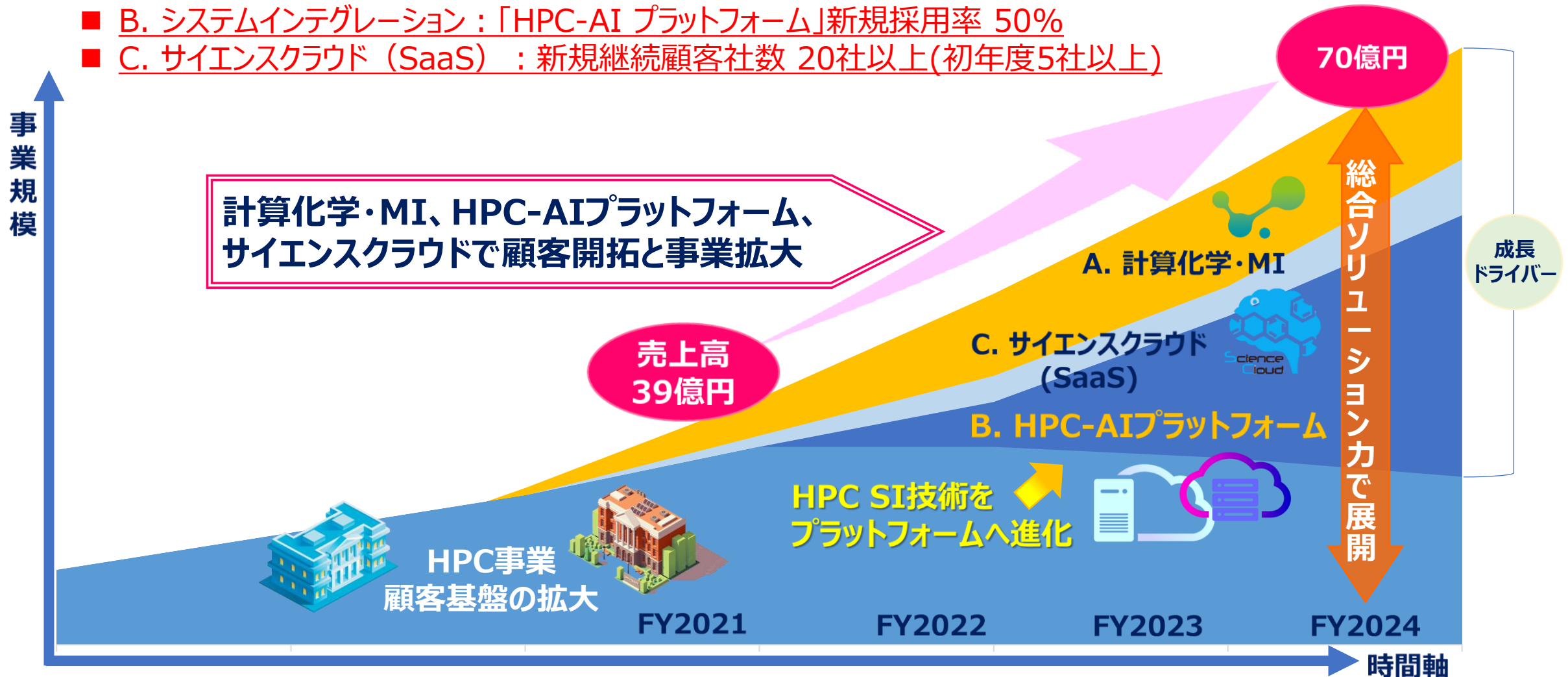
市場成長ポテンシャル2021年:2,600億円⇒2024年:3,800億円 CAGR13.0%※



※ HPC事業領域の国内市場規模推移は当社独自調査による

コンピュータサイエンスで科学技術を支えるプラットフォーム

- A. 計算化学・MI : 2021年6月期の売上高4億円を2024年6月期に売上高10億円
- B. システムインテグレーション : 「HPC-AI プラットフォーム」新規採用率 50%
- C. サイエンスクラウド (SaaS) : 新規継続顧客社数 20社以上(初年度5社以上)



いつでも、どこでも、誰でも、使いやすい計算環境を提供することで、 スーパーコンピューティングと人工知能(HPC-AI^{※9})の裾野を拡大

A. 計算化学・マテリアルズインフォマティクス (MI) の実用化

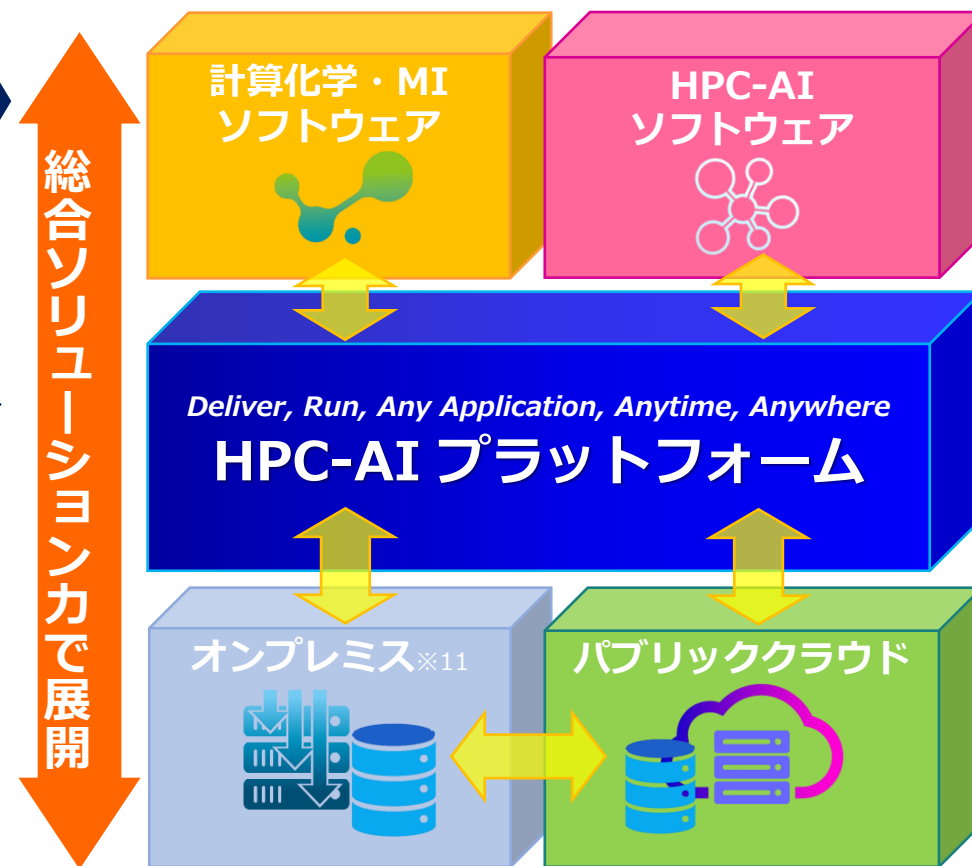
- 自社開発ソフトウェアをより高機能でより使いやすく進化
- 産学官連携による計算化学、MIの普及促進

B. HPCシステムインテグレーションの標準化

- 研究開発者誰もが使用できる「HPC-AI プラットフォーム」を開発
- 技術を高水準に保ち最先端技術への対応を持続

C. サイエンスクラウドの多様化

- 化学シミュレーションソフトウェアの種類を拡充
- オンプレミス、パブリッククラウドと接続
- 接続する全てのクラウドへ「HPC-AI プラットフォーム」を適用



※9, 11 : Appendix P40 用語集参照

【KPI】 2021年6月期の売上高4億円を2024年6月期に売上高10億円へ

計算化学とマテリアルズ・インフォマティクス(MI)の国産ソフトウェアを開発、提供することで日本産業界の競争力の向上に寄与

計算化学・MIの開発推進

- 自社開発力を基盤に、計算化学・MIソフトウェアの機能追加と使い易さを追求
- 各学術研究機関との協働、ソフトウェア開発の促進

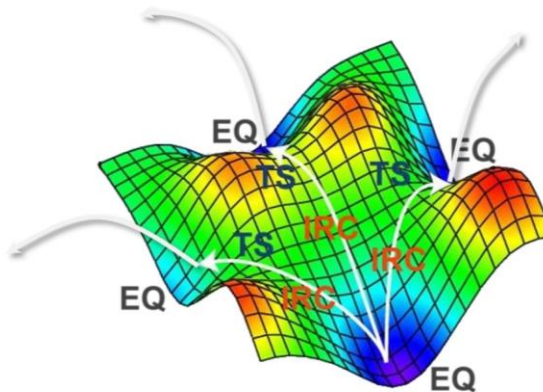
ビジネスモデルの構築強化

- ライセンシングビジネスモデルの強化
- MIのサービス構築
- 計算化学技術基盤体制の強化
- 知財化投資

世界標準に向けて海外へ展開

- 世界標準ソフトウェアとして欧米へマーケティング開始

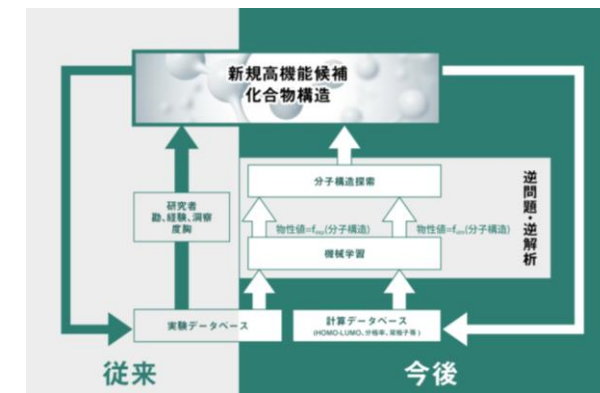
GRRM世界標準化への戦略



未知の化学反応を発見し
革新的な物質や材料を創出する

計算資源（コンピューティング）の性能が革新的な物質
や材料の発見を加速する

AI技術×計算化学技術の融合 による材料開発を加速



情報科学を通じて
革新的な物質や材料を探索する

【KPI】 HPC-AI プラットフォームの新規採用率を50%へ拡大

ヘテロジニアスなハードウェア環境と多様化するソフトウェアをHPC-AIプラットフォームで統合

各成長戦略分野へ顧客密着の市場展開

- 計算科学（公的研究機関・大学） 計算化学（化学/材料開発） AI（人工知能開発） CAE（もの作り）の各成長戦略分野ごとに異なる複雑な計算環境への対応力強化

HPC-SI技術をプラットフォームへ進化

- 世界標準となるHPC-AIプラットフォームの開発（HPCシステムとAIシステムの統合環境）
- フルカスタムSI※12へ先端技術の継続的な実装

HPC-AIプラットフォームの開発を加速

- ヘテロジニアス・コンピューティング環境の開発
- 世界の先端情報処理技術への適用力の強化
- 非ノイマン型次世代コンピュータの基礎研究と適用

計算科学
基礎研究領域
CSS

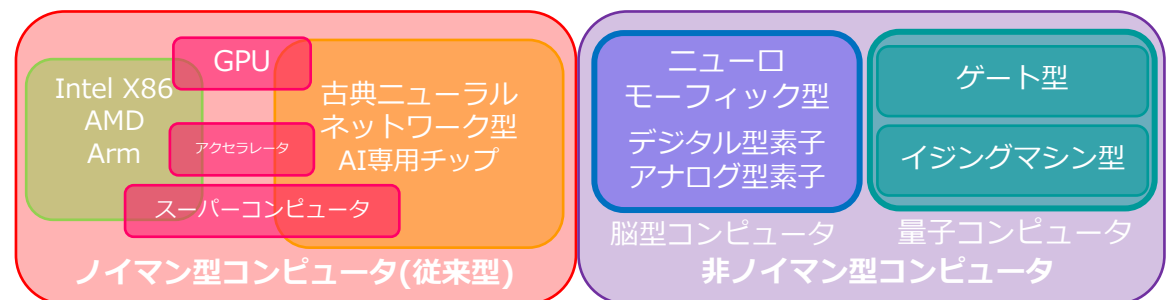
化学・材料
創薬開発領域
CCS

人工知能
研究開発領域
DSS

もの作り
研究開発領域
CAES

HPC-AI プラットフォーム

自社中核技術である
高度なHPCシステムインテグレーション技術と
シミュレーションソフトウェア実装技術の融合



技術革新を支える次世代コンピュータの展開方向

※12: Appendix P40 用語集参照

【KPI】 新規継続顧客社数：20社以上（初年度5社以上）

オンプレミスで培った独自技術をサイエンスクラウドサービスへ展開し、顧客の研究開発を加速

研究者のプラットフォームを構築

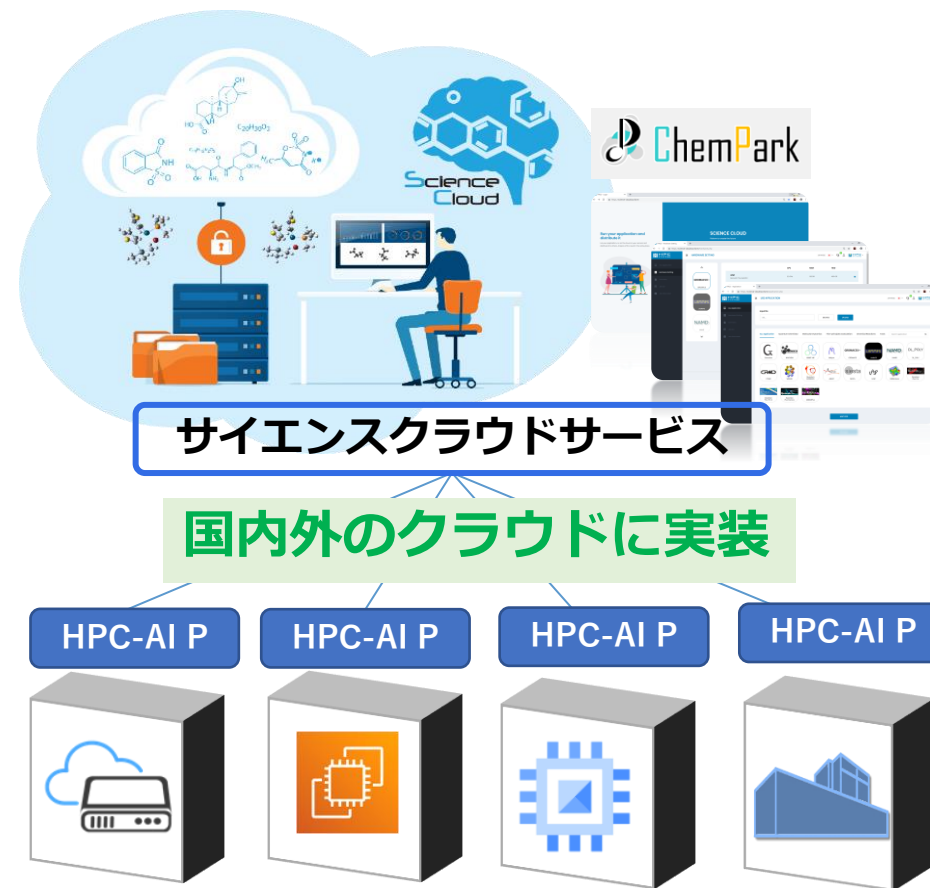
- 開発したプログラムをユーザー間で共有可能
- 使いたいプログラムを簡単にオンプレミスやパブリッククラウドで使用可能

技術基盤の強化

- HPC-AIプラットフォームのマルチクラウド対応
- 自動スケーリング機能を強化
- 富岳スーパーコンピュータ計算資源との連成

新たな可能性を拡充・創出

- 計算化学（SaaS）基盤構築を進め収益の柱に育成
- 大手クラウドベンダーと連携してサービスモデルを拡充
- 富岳スーパーコンピュータで実用的なアウトプットを創出



※ HPC-AI P: HPC-AIプラットフォームの略

I.2

CTO事業戦略

Smart Factory・Edge IoT・Edge AI
製品&サービスの提供を通して
多角的にお客様の製品開発、量産を加速支援

Smart
Factory

基盤技術
コンピュータ
サイエンス

Edge AI

Edge IoT

市場成長ポテンシャル2021年 1,870億円 ⇒ 2024年 2,570億円 CAGR 11.1%*

Compatibility
AIを確実に実行する製品開発
Edge AI 分野

Connectivity
ネットワークやデバイスとの確実な接続
Edge IoT 分野

CTO事業が展開する
市場・産業分野

用途・アプリケーション

産業用コンピュータ
Edge製品・サービス

売上高 2021年 18億円 ⇒ 2024年 30億円
CAGR 17.0%

市場成長より高い成長率を目標

Smart Factory 分野

課題を解決する製品提案で継続顧客を増加

Communication



交通



エンタテインメント



セキュリティ

顔認証システム

交通監視システム



アミューズメント機器



画像診断装置

医療・ヘルスケア



農業・畜産

AI OCR機器

スマート農業機械



売上高 2021年 18億円 ⇒ 2024年 30億円
CAGR 17.0%

市場成長より高い成長率を目標



デジタルサイネージ

RFID管理システム

小売・広告



無人自動搬送機

半導体製造・検査装置

画像検査装置

Smart Factory 分野

課題を解決する製品提案で継続顧客を増加



物流



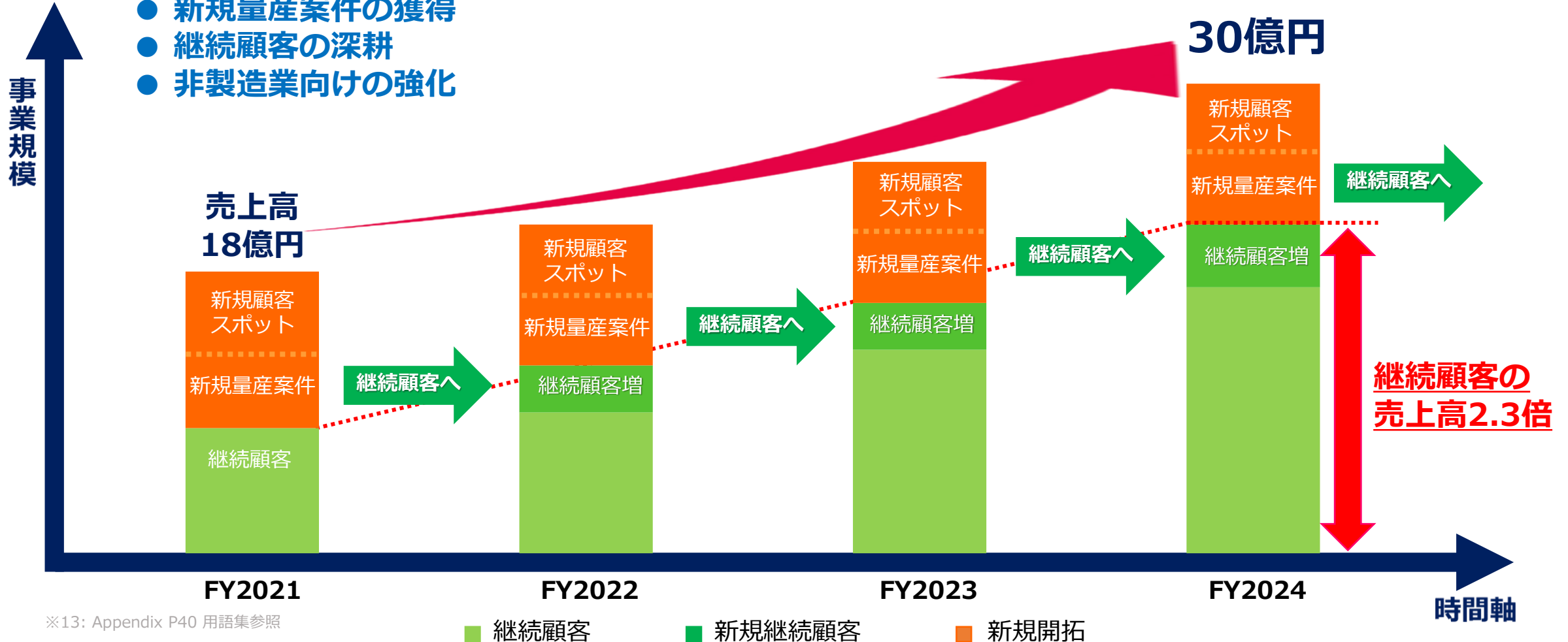
製造・検査

* CTO事業領域の国内市場規模推移は当社独自調査による

【KPI】 2024年6月期に継続顧客の売上高を2.3倍

長期供給型CTOソリューション^{※13}による強固な収益基盤の構築

- 新規量産案件の獲得
- 継続顧客の深耕
- 非製造業向けの強化



※13: Appendix P40 用語集参照

高度化する市場ニーズに対して、コンピュータサイエンスを駆使した長期供給型CTOソリューションを提供し、収益基盤を強化

原動力

A. 独自の組み合わせ技術の強化

- 安定成長を見込む製造業向け産業用コンピュータや高成長が期待される非製造業向けエッジコンピューティング、AI分野に求められる技術やデバイスを駆使し、顧客ニーズに最適化したCTOソリューションを提供
- 装置メーカー、サービスプロバイダでの量産採用により、継続的な顧客・収益基盤を獲得・拡大

事業基盤

B. 基盤強化と業務プロセス改革

- 顧客ニーズの変化や多品種変量生産に対応し、生産性と高品質を両立する、柔軟かつ強靱な事業基盤の強化
- 継続顧客の満足度向上、深耕による収益基盤強化

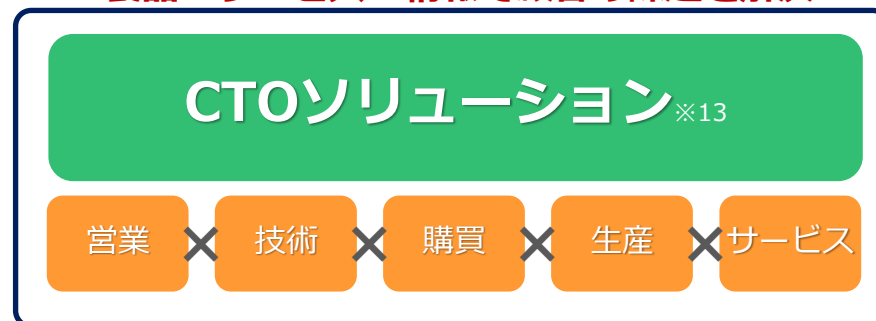
市場ニーズ

多様なニーズ・課題が存在



製品・サービス・情報で顧客の課題を解決

提供価値



※13: Appendix P40 用語集参照

現場を知り、開発者の「想い」を実現する最適な製品をスピーディーに提供

原動力

業界知識の深耕

- 顧客ニーズの本質を理解し、価値を共創
- 技術・販売パートナーとのエコシステム構築、連携強化
- 製品・サービス企画力、ソリューション営業力の強化

組み合わせ技術で顧客の開発を加速

- 自社中核技術の組み合わせ技術を強化
 - ・ AIプロセッサ、FPGA等の互換性
 - ・ 拡張インターフェース、通信モジュールの互換性
- フィッティング コンサルティング サービス (FCS) の充実

ネットワーク技術の適用

- 5G通信やWi-Fi6等の新無線通信への対応
- 高速・大容量通信への対応
- リモートモニタリングへの対応

Smart Factory
製造・検査装置

Edge IoT
センシング機器

Edge AI
AI搭載システム

独自の組み合わせ技術

最新デバイスをいち早く評価し、
顧客ニーズ・課題に対応

Intel
X86
AMD
Arm

GPU/FPGA
アクセラレータ
AIプロセッサ

拡張デバイス

コンピュータ技術

高速通信
10GbE
InfiniBand

次世代無線技術
5G通信
Wi-Fi6等

ネットワーク技術

高負荷に耐える筐体設計・熱設計・防塵防水設計

産業用コンピュータに求められる安定性・信頼性

顧客と価値を共創

生産性と高品質を両立する、柔軟かつ強靱な基盤強化

事業
基盤

工場の進化

- 2024年までにスペースの効率化含め生産能力を1.5倍向上
- 高生産性を実現する画像検査、AI、デジタル技術を実装
 - ・生産設備刷新、増強
- 工場拡張・新設の検討

DX推進・業務プロセス改革

- 業務の共通化と標準化の推進
- 業務支援ツール開発、RPA導入
- 部材調達ルートが多様化
- chemSHERPAへの取り組み推進、輸出認証取得の取り組み

生産技術・QCD※の追求

- ライン生産とセル生産方式のハイブリッドによる生産効率向上
 - ・新たな工法・つくり方を導入
- 製品への要求仕様、需要の変動に対応する生産体制
- 最新デバイス、ネットワーク技術への検査と品質保証への対応
- もの作り人材の教育、非効率業務の改善、安定供給の追求

※ QCD : Quality (品質)、Cost (コスト)、Delivery (納期)の頭文字を組み合わせた単語



中核事業を支える 重点施策

II

III

IV

V



II 持続的成長を支える
人財育成・人財採用

IV 強靱でしなやかな
経営基盤の強化

デジタルトランスフォーメーション



III 中核事業で培った
資産で新規事業の創出

V 海外進出と推進

II 人財育成・人財採用

- 教育、スキルアッププログラムの充実
- 中長期的なキャリア形成の支援
- 積極的な専門分野の人財採用
- 2021年比で人財を1.2倍から1.5倍へ増強

III 新規事業の創出

- 事業の創造に継続的に挑戦し、新たな収益の柱を創出
- 中核事業のシナジーを活かした機械学習・AI領域の事業創出
- 業務提携を拡大・推進し、新規事業を創出

IV 経営基盤の強化

- DX推進、業務ツール開発、RPA導入
- マーケティングツール開発、運用
- 開発設備、生産設備投資
- ファブレスと自社生産のハイブリッド体制強化

V 海外進出と推進

- 計算化学分野でパートナーとの連携による欧米マーケティング
- ベトナム拠点強化、実績と認知度を向上
- 台湾拠点の機能強化
- 中国市場の開拓

Vision2024、将来の成長に繋げるべく、積極的な投資姿勢

株主還元

- 当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、中長期の経営視点から獲得した資金は、事業発展につなげる成長投資のために、適正な内部留保を確保しつつ、業績、財務の健全性、手元資金や株価水準等を総合的に勘案したうえで、自己株式の取得を機動的に実施

成長投資

3年間の累計額

10億円上限※

※成長投資資金は、自己資金および間接金融により調達
今後の市況、業績の見通しによって柔軟に対応

I 中核事業の研究開発

- HPC-AIプラットフォーム、サイエンスクラウド開発
- マテリアルズ・インフォマティクスソフトウェア開発
- グリーンコンピューティング：液浸冷却等の冷却技術研究
- 高性能化・拡張性・次世代通信技術対応の開発
- 知財化投資

II 人財育成と人財採用

- 営業活動プロセス全般におけるスキル向上
- 各種技術スキルアップ習得、学位取得支援
- 積極的な専門分野の人財採用
- グローバル人財の採用

III 新規事業の創出

- 実験と計算科学、データ駆動型科学を融合する事業

IV 経営基盤の強化

- DX推進のための業務ツール導入、自社開発
- マーケティングツール開発
- 生産性・品質向上のための開発設備、生産設備投資

V 海外進出と推進

- 計算化学分野における欧米マーケティング
- 台湾拠点強化、ベトナム拠点強化

中期経営計画 Vision2024

2030年までに達成したい姿を実現するための重要な通過点と位置付け

	2021年6月期	2017年6月期比	2024年6月期	2021年6月期比
	実績	CAGR	目標	CAGR
売上高	58億円	10.6%	100億円	19.7%
HPC事業	39億円	9.6%	70億円	21.0%
CTO事業	18億円	12.7%	30億円	17.0%
営業利益	6.7億円	29.0%	12.8億円	23.8%
HPC事業	4.9億円	34.4%	9.6億円	24.9%
CTO事業	1.8億円	18.6%	3.2億円	20.9%
営業利益率	11.6%		12.8%	
売上高・営業利益（前年比）	2桁成長		2桁成長	
株主資本利益率（ROE）	28.1%		26%	

- 成長性指標 売上高成長率を2021年6月期比でCAGR19.7%を設定
- 収益性指標 営業利益率2021年6月期11.6%を2024年6月期に12.8%
- 資本効率性指標 中期経営計画期間のROE25%以上と高い水準維持

サステナビリティ の考え方と取り組み



持続可能な社会の実現に向けて、ビジョナリー経営を中核にESGを推進

Environment



環境

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

Governance



企業統治

当社は、TCFD提言に賛同を表明（2021年4月）し、持続可能な社会実現のための環境目標を設定しました。温室効果ガスを継続的に削減するとともに、情報開示に努め、様々なサステナビリティ活動を推進

環境目標：2030年までに当社のCO₂排出量を2018年比で37%削減する



**2021年中に匠瑛工場へ
再生可能エネルギー100%導入予定**

他拠点へ拡大

- 液浸冷却等の冷却技術研究によるグリーンコンピューティングの推進
- 人の健康と環境の保護を促進するためのchemSHERPA（製品含有化学物質情報伝達スキーム）への取り組み推進

- 理念に基づく公正・透明な経営
- 積極的な情報開示
- ガバナンス強化の課題・目標設置

Social



社会

事業を通じて、ダイバーシティを推進し、優秀な人材の確保や「技術を育て、人を育てる」ことに努め、従業員や社会から選ばれる企業になることを目指す

- 研究に従事する研究者への研究助成
- 学生への奨学助成
- 定職をもたないシニア研究者を対象とする研究助成制度

コンピュータサイエンスを基軸に 人とコンピューティングの力で世界平和に貢献する 世界を代表する21世紀のビジョナリーカンパニーへ

不確実な時代でも、時代を超えて生き続け
世界に必要とされる持続可能な企業を目指します